新事業創出・食品産業課題解決対策事業のうち

フードテックを活用した新しいビジネスモデル実証事業

【令和４年度予算額　30（－）百万円】

＜対策のポイント＞

多様な食の需要への対応や食に関する社会課題の解決を図るため、食品事業者等の関係者が企画・実行する、**フードテック等を活用したビジネスモデルの実証を支援**します。

また、これらの実証の**成果の横展開を図るための情報発信等の取組を支援**します。

＜事業目標＞

フードテック等を活用した新たな商品・サービスの創出

＜事業の内容＞

1．ビジネスモデル実証事業の支援

国内の食品事業者、流通事業者、製造事業者、情報関連事業者、大学等の研究機関、食育・栄養関係団体等によるフードテック等を活用した**新たな商品・サービスを生み出すビジネスモデルを実証する取組を支援**します。

想定されるビジネスモデル（例）

- 増大する食に関する需要への対応と環境負荷低減の両立のための、植物性タンパク質食品や環境負荷を下げる家畜飼料の提供　など
- 循環型社会の実現のための、廃棄物を活用し育成した昆虫や藻を使用する飼料の提供　など
- 医食同源を通じた健康増進のための、個々の消費者に必要な栄養バランスを考慮した食品の提供　など
- 高齢者など食の制約のある者も食を楽しめる、３Dフードプリンターを使った介護食の提供　など

2．横展開に向けた情報発信等

上記の取組により実証された内容の横展開を図るため、実証成果をとりまとめたウェブページ等の成果物の作成、セミナーの開催等による**情報発信等の取組を支援**します。

＜事業の流れ＞

国 →（定額）→ 民間団体等 →（1/2）→ 民間団体等

＜事業イメージ＞

技術

植物性タンパク質を用いた食品、３Dフードプリンター等、多様な食の需要や食に関する社会課題を解決するための新しい技術

関係者

食品事業者	流通事業者
製造事業者	情報関連事業者
大学等研究機関	食育・栄養関係団体
コンサルタント	海外食品事業者

産学官、異分野、同業種連携等による、「PoC（Proof of Concept）止まりの壁」のブレイクスルー
（単独でのビジネスモデル実証の実施も可）

ビジネス化

発芽大豆素材を用いたタコス

昆虫を活用した機能性のある国産飼料

３Dフードプリンターを活用した介護食

事業戦略検討、試作品製造、マーケティングリサーチ、商品デザイン、テストマーケティング、販路確保、原材料確保

結果

SDGｓの達成に資するプロジェクトとしてPR

新たな市場の創出
我が国食品産業の競争力強化
環境負荷の低減
健康の増進

［お問い合わせ先］大臣官房新事業・食品産業部企画グループ　（03-6744-7181）